

## 1. 学校のトピックス

- 1.1 学生活動
- 1.2 教育・研究活動
- 1.3 産学連携・地域連携
- 1.4 国際交流
- 1.5 その他



## 1. 学校のトピックス

### 1.1 学生活動

#### 1.1.1 チーム・ドリームランドが平成28年度青少年育成香川県民会議青少年善行者表彰賞を受賞しました

平成28年5月26日(木)、本校詫間キャンパスチーム・ドリームランドが、香川県庁ホールにおいて、『平成28年度青少年育成香川県民会議青少年善行者表彰』を受賞しました。

当日は、浜田恵造 香川県知事から、代表学生に直接表彰状が授与されました。この賞では、当チームのコミュニティセンター等での日頃の小学生向け工作教室活動が高く評価されました。

受賞した学生達と顧問の白石教員、大畑技術職員は、このことを八尾校長に報告し、校長も今回の受賞について大変喜ばれ、今後一層活躍するよう激励をしました。



香川県庁ホールで浜田知事から表彰されたチーム・ドリームランドの代表学生



県庁ホール前での記念撮影

報告会にて

#### 1.1.2 第66回西日本学生体操選手権大会(新体操の部)において女子個人総合3位になりました

平成28年5月16日、17日、18日に、富山市で開催された第66回西日本学生体操選手権大会(新体操の部)において、建設環境工学科5年の山本果歩さんが、女子個人総合3位、種目別フープ4位、ボール1位、クラブ3位、リボン5位という優秀な成績を収めました。

リボンではミスもありましたが、日頃の練習の成果を発揮できた大会となりました。

本試合の結果、8月に行われます第68回全日本学生新体操選手権大会への出場権を獲得し、出場いたします。



### 1.1.3 全国高専体育大会バドミントン競技（男子）で団体戦準優勝しました

平成28年8月20日（土）21日（日）に高岡市民体育館で開催された第51回全国高等専門学校体育大会バドミントン競技において、高松キャンパスバドミントン部男子が団体戦準優勝しました。

準決勝までの全試合を苦戦ながらも勝ち上がりバドミントン部男子としては6年ぶりの決勝進出を果たしましたが、決勝戦で惜しくも釧路高専に敗れ準優勝となりました。また、個人戦においてもダブルス（矢田・林組）が準優勝を収めるなど大健闘でした。

日頃から部の活動にご理解とご協力をいただいている保護者の皆様をはじめ、これまで練習を支えてくださったOBの皆様に御礼申し上げます。

#### 【成績】

男子団体戦 準優勝

1回戦	香川高専高松	2-1	福島高専
2回戦	香川高専高松	2-0	徳山高専
準決勝	香川高専高松	2-1	北九州高専
決勝	香川高専高松	0-2	釧路高専

男子ダブルス

矢田 慎二・林 尚輝 組 準優勝

男子シングルス

矢田 慎二 棄権

林 尚輝 1回戦敗退



団体戦 準優勝



ダブルス 準優勝

### 1.1.4 女子学生のキャリアサポート見学会 - 伊方発電所施設見学 - を実施しました

平成28年9月27日（火）、28日（水）、高松キャンパス・詫間キャンパスの女子学生1年生～5年生28人（引率：内田教員）が参加しました。

27日は徳島松尾川第二発電所（水力発電）、原子力保安研究所、28日は伊方ビジターズハウス、伊方発電所を見学し、エネルギーおよび電力業務に関して学びました。

夕食後は高専を卒業した女性技術者との交流会を通じて、電力業界での仕事、技術者としての姿勢や働き方などのお話を直接伺うことで、参加学生にとって将来のキャリアビジョンを改めて考える良い機会となりました。



松尾川第二発電所にて、水力発電について学びました



伊方ビジターズハウスにて、エネルギーや原子力発電について学びました



### 1.1.5 第27回全国高専プログラミングコンテスト自由部門と課題部門で敢闘賞受賞

10月9,10日に第27回全国高等専門学校プログラミングコンテストが三重県の伊勢市観光文化会館で開催されました。高松キャンパスからは自由部門と競技部門、詫間キャンパスからは課題部門と競技部門に参加しました。

自由部門と課題部門では敢闘賞を受賞しました。競技部門では両キャンパスとも敗者復活戦で準決勝に進出しましたが、惜しくも敗れました。今年度は、課題部門には応募55チーム中20チームが予選通過、自由部門には応募55チーム中20チームが予選通過、競技部門には応募61チーム中61チームが予選通過し本選が行われました。



高松キャンパス



詫間キャンパス

### 1.1.6 女子学生による私の未来発見事業において、入選・佳作を受賞しました

香川県が実施した「女子学生による私の未来発見事業」に、建設環境工学科と創造工学専攻の女子学生で結成された2チームが参加しました。この事業は、女子学生自身の手本となる、県内で活躍している女性を撮影した動画を作成し発表するもので、平成28年11月23日に行われた発表会において、「たかまつ土木女子の会」チームが入選、「香川高専」チームが佳作を受賞しました。

両チームともに建設環境工学科のOGの協力をいただき、数か月にわたって動画の企画・撮影・編集を行い、発表会に臨みました。

作成した動画は、香川県のHP「かがわ女性の輝き応援団」で近日中に公開される予定となっております。

[http://kagayaku-kagawa.jp/interview/female\\_student3.html](http://kagayaku-kagawa.jp/interview/female_student3.html)



### 1.1.7 高専ロボコン 2016 全国大会で初優勝しました

11月20日（日）に両国国技館において、「アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト2016全国大会」が開催されました。今年の競技はロボットによる「新大陸開拓」で、待ち受ける障害をロボットで乗り越え、新大陸を開拓した証としてブロックを積み上げ「砦」を築き上げます。制限時間内に相手より高い「砦」を完成させたチームの勝利となるものです。本校高松キャンパスからは、「八機八構（ハッキヤコウ）」が出場しました。

「八機八構」は、決勝までの再試合を含む5試合すべてにおいて、240 cmの砦を築きあげて勝利し、優勝を決めました。高松キャンパスは去年準優勝の雪辱を晴らし、見事初優勝を成し遂げました。

最後に、国技館まで応援に来て頂いた多数の教職員、学生、保護者および同窓生の皆様に心より御礼申し上げます。結果の詳細は、下記のリンク先をご参照下さい。なお、全国大会の放送は12月23日（金・祝）午前10:05～（NHK総合）です。



砦を築きあげる



優勝の瞬間



優勝旗授与



記念写真

### 1.1.8 報告会『ストックホルム国際青年科学セミナー帰国報告会～ノーベル賞授賞式に出席して～』を開催しました

12月19日（月）、全校生を対象に本校専攻科2年の春日貴章さんによる報告会『ストックホルム国際青年科学セミナー帰国報告会～ノーベル賞授賞式に出席して～』を開催しました。

春日さんは、ノーベル賞授賞式に世界から25名招待される学生の1名（日本からは2名選出）に選ばれ、今年のノーベル賞授賞式に参加しました。高専生から選ばれるのは、初の快挙となります。

報告会では、今回の国際青年科学セミナーに参加するにあたっての経緯や、ノーベル賞授賞式の様子、また現地での参加行事などについて、興味深い事柄をわかりやすく伝えてくれました。

詫間キャンパス、高松キャンパス合わせて約300人もの学生・教職員が出席し、学生たちは非常に熱心に耳を傾けていました。

最後の質問時間では、当初の予定を大きく超える多数の質問があり、報告会は大盛況に終わりました。



校長先生の挨拶



ノーベル賞の招待状！



多数の質問がありました。



会場は立ち見が出るほど盛況でした！

### 1.1.9 全国高等学校柔道選手権香川県大会にて個人戦優勝しました

1月14日（土）・15日（日）に香川県立武道館で開催された第39回全国高等学校柔道選手権香川県大会において、個人戦66kg以下級で2年機械電子工学科の青山海斐君がオール一本勝ちで見事優勝しました。青山君は3月19日（日）に東京の日本武道館で開催される全国大会に香川県の代表選手として出場します。



### 1.1.10 「平成28年度学生による企画提案活動支援事業報告会」に参加しました

3月7日（火）、香川県庁内において、（公財）明治百年記念香川県青少年基金「平成28年度 学生による企画提案活動支援事業報告会」が実施され、香川高専詫間キャンパスから3団体が参加しました。

報告会には香川県内の大学生・高専生・高校生による9団体が参加し、本校からは「チーム・ドリームランド」「TEAM ARK」「ものづくり愛好会」の代表者が平成28年度の活動成果を発表しました。

○報告内容○

チーム・ドリームランド

「2016 離島（小豆島）における出前教室への取り組み」

TEAM ARK

「宿泊型みとよロボットコンテスト2016の開催」

ものづくり愛好会

「放射線防護をわかりやすく伝える科学実験」

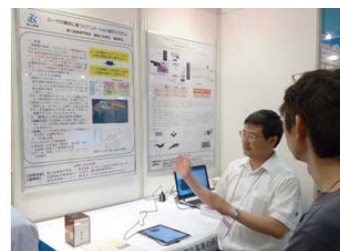
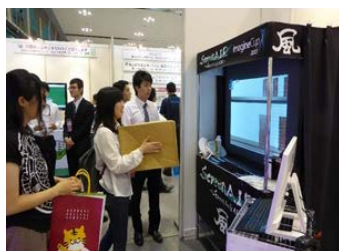


本事業は（公財）明治百年記念香川県青少年基金の支援をうけ、学生が子どもたちのための体験活動を通じて自発性や自立性、創造性を養うことを目的としたものです。

## 1.2 教育・研究活動

### 1.2.1 DISわぁると in 四国たかまつに出展しました

平成28年7月20日(水)、21日(木)の両日、サンメッセ香川で開催された全国規模のICT総合展示会「DIS わぁると in 四国たかまつ」に、本校電気情報工学科の重田教授及び情報工学科の金澤准教授が出展しました。



展示コーナーにおいて開発装置や試作品を紹介するなど、来場のお客様と積極的な情報交換を進めました。またショーセッションも行い、聴講者が改めて展示コーナーを訪れる姿も見られました。さらに他の出展企業・大学等との相互交流も行いました。



#### 【出展内容】

重田教授「ユーザの嗜好に基づくアニメーション提示システム」

金澤准教授「風を活用したインタラクションシステム『SCREEN feels AIR』」

### 1.2.2 「ドローンを活用した送電線点検ロボット」の開発が新聞に掲載されました

2016年8月20日付の毎日新聞朝刊(経済面)で、本校専攻科生が開発を進める「ドローンを活用した送電線点検ロボット」が紹介されました。

本校ロボコンチーム TEAM ARK 出身の専攻科生が、ロボコンで得たものづくりのノウハウと、制御用の棒を使ってドローンを安全に制御するユニークなアイデアを使って、電力用送電線を自動で点検するロボットの開発を企業と共同で進めています。



### 1.2.3 平成28年度香川高等専門学校FD・SD研修会を開催しました

9月12日（月）に、綾歌総合文化会館アイレックスにおいて、「平成28年度 香川高等専門学校FD・SD研修会」を開催しました。

研修会には約170名の教職員が参加し、はじめに、有限責任監査法人トーマツ公認会計士・シニアスタッフの山田達也氏を講師に迎え、公的研究費の不正防止に関するコンプライアンス研修を実施しました。

山田講師からは、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」のポイントなど公的研究費の執行にあたり教職員が遵守しなければならない事項等について説明があった後、本研修の理解度をはかるテストを行いました。

次に、香川産業保健総合支援センター産業保健相談員・メンタルヘルス対策促進員の根本幸子氏を講師に迎え、「ハラスメントのない快適なキャンパスづくり」と題し、研修を実施しました。

根本講師から、今年度初実施となったストレスチェックを活用したメンタルヘルス対策、思春期の学生のメンタルヘルスなどについて事例を交えた講演があり、快適なキャンパスづくりに向けて、教職員としての心構えを再認識できました。

研修後の質疑応答では、参加した教職員から積極的に質問があり、非常に有意義な研修となりました。



特別講演「公的研究費の不正防止に関するコンプライアンス研修」  
(有限責任監査法人トーマツ  
公認会計士・シニアスタッフ 山田 達也 氏)



特別講演「ハラスメントのない快適なキャンパスづくり」  
(香川産業保健総合支援センター  
産業保健相談員・メンタルヘルス対策促進員 根本 幸子 氏)

### 1.2.4 技術教育支援室がサイエンスアゴラ 2016 にて J S T 賞を受賞しました

11月3日～6日まで日本科学未来館（東京）他で行われた日本最大級のサイエンスコミュニケーションイベント「サイエンスアゴラ 2016」に技術教育支援室の田辺、向井、中島 3名の技術職員が出展しました。

出展した「激走！！エネルギーサーキット～いろいろなエネルギー変換を学ぼう～」は、さまざまなエネルギー変換で発生した電気を使いスロットカーを走らせる体験型企画です。楽しみながらエネルギー変換を学び、エネルギー問題について考える教材として、多くの来場者から好評をいただきました。

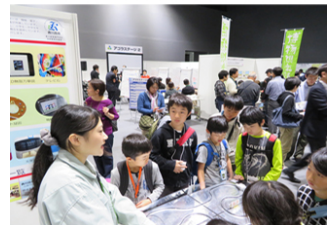
また、主催である国立研究開発法人科学技術振興機構様より J S T 賞をいただきました。J S T 賞は科学と社会の関係を深め、これからの豊かな社会をつくることに顕著な貢献をしたと認められる優れた企画に与えられるもので、受賞理由として技術教育支援室の教材開発能力及び公開講座「ものづくり教室」等の地域密着型活動を高く評価していただきました。



J S T 賞受賞



ペルチェ効果を体験



子供達に大盛況



太陽光によるスロットカー走行体験

### 1.2.5 第4ブロックロボット研究会設立総会に参加しました

12月21日（水）、ピュアリティまきび（岡山市）において、中国・四国両地区の高専で構成する第4ブロックにおける「ロボット研究会」設立総会が開催され、本校からロボット関係の教員及びコーディネーター等9名が参加しました。

同研究会は、広域連携によって研究力を一層高めて行くため発足したものです。

まず、研究会幹事校である津山高専の則次校長より開催挨拶が有り、その後、各参加者の研究内容について自己紹介が行われました。また、今後の活動についての活発な意見交換が行われ、参加者が有する課題解決に向けた情報共有や研究協力等に取り組むと共に、具体的な当面のテーマとして、「農林水産業関連」、「介護関連」の2研究グループを結成することとなりました。



### 1.2.6 本校職員が国立高専機構職員表彰において「理事長賞」を受賞しました

詫間キャンパス技術教育支援室の毛利千里技術職員が、平成28年度国立高等専門学校機構職員表彰において「理事長賞」を受賞しました。

この表彰は、事務職員、技術職員を対象に、業務改善や教育研究支援等において、特に高く評価できる成果が認められた職員を表彰するものです。

今年度は、理事長賞と若手奨励賞に各1名が選ばれ、1月10日に東京都千代田区の学術総合センターにおいて行われた表彰式で谷口理事長から表彰を受けました。

毛利技術職員は研究活動と連携した工学実験教材の開発や科学体験イベントの実施、知財教育の普及、学生の課外活動支援、女子学生に対するキャリア支援など多方面において積極的な取り組みが高く評価され、理事長賞受賞となりました。

なお、表彰式当日は八尾校長に代理授与され、2月1日に本校詫間キャンパス校長室において八尾校長から毛利技術職員に表彰状が授与されました。



### 1.2.7 「第2回知財活動研究会」に参加しました

2月23日（木）15:00から、四国地区5高専による「第2回知財活動研究会」をTV会議により開催されました。本校から、福永副校長をはじめとする知財担当教職員8名、相談窓口担当弁理士3名が参加しました。

まず、関コーディネーターから、本研究会の趣旨説明があり、その後、山口大学国際総合科学部教授 木村友久氏から「山口大学における知財教育と産学連携」をテーマに同大学の先進的な取り組みについて話題提供がありました。

その後の意見交換では、効果的な知財教育や教育効果の評価方法、円滑な共同研究推進に向けた知財活動のありかた等について複数の質問があり、活発な研究会となりました。

なお、本研究会は、日本弁理士会四国支部と四国地区高専地域イノベーションセンターの連携事業として開催したもので、今後も教育・研究に資する知財活動充実に向け相互協力のもと取り組みを進めて行く予定です。



### 1.2.8 ダンボール模型飛行機研究報告会を開催しました

3月10日（金）、地域イノベーションセンター会議室において、本校機械工学科5年生の小松剛司君が卒業研究で取り組んだダンボール模型飛行機の開発について報告を行いました。これは、株式会社FUJIDAN（旧富士ダンボール工業株式会社）と本校機械工学科・高橋洋一研究室、神戸市立工業高等専門学校機械工学科・福井智史研究室（元香川高専教授）が共同で開発したダンボール製の模型飛行機に関する研究報告会です。

株式会社FUJIDANの本田展稔社長からの提案で、ダンボール製で動力付の模型飛行機の開発を共同で開始し、2年の歳月を経てようやく飛行できるまでに至りました。今後は、製品化も見据えて研究を続けていく予定です。また、本報告会は、四国新聞社へプレスリリースされ、当日は、同社の記者から取材を受けました。その記事は、3月11日の同新聞に掲載されました。なお、本研究は、平成27年度文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創成推進事業（COC+）」採択プロジェクトのうち、「地域企業との共同研究推進事業」の一環として行われました。



### 1.3 産学連携・地域連携

#### 1.3.1 総務省四国総合通信局長による講演会を開催しました

5月19日(木)詫間キャンパスにおいて、総務省四国総合通信局長佐藤裁也氏を講師としてお招きし、第4学年を対象に講演会を開催しました。

『条件不利・課題先進地からICT先進地に～ICTで輝く四国・日本・世界の今とこれから～』と題し、4月末に高松市で開催されたG7香川高松情報通信大臣会合の意義や高専の意義及び四国のICT活用の意義について分かりやすくご講演いただきました。

学生にとって授業では得難い最新の知識を身近なものとして学習することができ、大変有意義な講演会となりました。



現在の国際情勢についてわかりやすく教えて頂きました



熱心に聞く学生達

#### 1.3.2 香川高専産業技術振興会総会を開催しました

9月21日(水)、リーガホテルゼスト高松にて、第7回香川高等専門学校産業技術振興会総会を開催しました。

総会には、法人会員、個人会員及び香川高専教職員を含めて総勢52名が参加し、平田会長(株式会社ヒューテック相談役)及び八尾校長(香川高専)の挨拶の後、第7事業年度の事業報告・会計報告および第8事業年度の事業計画・予算が提案され、承認を受けました。

総会にあわせて、会員企業との共同研究等の活性化を目的としたシーズ発表会、日本弁理士会四国支部副支部長 中井博氏による「高専と弁理士会の連携の紹介と知財を活かした産学連携」と題した講演会を企画し、大変充実した内容となりました。

その後、会場を移して会員企業間や教職員との交流会が行われ、和やかな雰囲気の中での懇親、交流がはかられました。



総会での平田会長挨拶



中井弁理士による講演



シーズ発表会風景



パネルディスカッション

### 1.3.3 平成28年度「香川県大学等魅力づくり補助金」による講義と工場見学を実施しました

平成28年9月29日（木）に松山哲也氏（日本興業(株)）による「ため池等の付帯構造物を形成するコンクリート2次製品」と題して、アドバンストコース 協働科目I 技術科学フロンティア概論の履修者35人（高松キャンパス4学科，4,5年生）を対象に講義を実施していただきました。また、午後には日本興業(株)志度工場にバス移動してコンクリート2次製品の製造過程について見学させていただきました。

香川県内地場産業であるコンクリート2次製品について、座学と現場の視点から幅広くご指導いただきました。なお、本講義と工場見学の実施については、香川県大学等魅力づくり補助金・地域企業への就職を推進するための学生の地域企業研究実施経費等を充当しました。



### 1.3.4 「徳島・香川トモニ市場6周年記念マルシェ」で三豊市特産品PR販売と三豊市PRに協力しました



三豊市の特産物をPR。天気にも恵まれ、たくさんのお客さんが来てくれました！

11月12日（土）・13日（日）の2日間、JR有楽町駅前東京交通会館前1階ピロティにおいて、【徳島・香川トモニ市場開設6周年記念マルシェ】が行われ、みらい技術共同教育センターは三豊市・香川銀行と連携し出店しました。

出店ブースでは、三豊市の特産品紹介及び販売と観光案内を行いました。出店には本校の学生5名が参加し、特産品PRのためのポスターやチラシ、ディスプレイなどを工夫して作成し、当日は、試食用に簡単な調理販売を行うなど、

自分たちのアイディアで三豊市の特産品を少しでも知ってもらおうと試みました。

また、店先には、お茶接待ロボット「みっちゃん」も一緒に並び、三豊市の高瀬銘茶のPRに一役買いました。

みらい技術共同教育センターでは今後も地域に密着した活動を積極的に推進したいと考えています。

### 1.3.5 平成28年度「香川県大学等魅力づくり補助金」による講義を実施しました

平成28年12月13日(火)に本校OBの大川孝治氏ら(大成建設(株))による「建設業～官庁と民間～発注者と受注者」と題して、建設環境工学科4年生を対象に講義を実施していただきました。大川氏は香川県庁を退職され、現在も建設会社の技術者として活躍されておられます。

香川県の土木行政、実務での豊富なご経験談と現在の受注者側から見た建設業の多面的な視点から分かりやすくご講義いただきました。同社の女性技術者である角崎由貴子氏と女子学生とのトークセッションなどもご対応いただきました。

なお、本講義は香川県大学等魅力づくり補助金・地域企業への就職を推進するための学生の地域企業研究実施経費を充当しました。



### 1.3.6 こども3DプリンタFes!に出展しました

12月23日～26日 高松市こども未来館開館記念冬のイベントで開催された「こども3DプリンタFes!」に、詫間キャンパス技術教育支援室が『伝統文化継承のための3Dプリンタの活用「仁尾八朔人形まつり」』を出展しました。

期間中は、3Dプリンタによる製作デモを行ない、来場者には仁尾八朔人形まつりの作品集DVDの配布を行ないました。多くの方々からご好評をいただきました。



### 1.3.7 エンジニア・フェアに参加しました

本科4年生と専攻科1年生を対象とした香川ものづくり業界研究セミナー「エンジニア・フェア」に25名が参加しました。サンメッセ香川の小展示場にて開催されました。香川大学生約60名も一緒に参加しました。県内企業を中心として20社の採用担当者がブースを構え、30分×4セットで多くのブースを回って多面的に業界の動向、就活におけるポイントなどを的確に幅広くアドバイスをいただきました。

本イベントは平成28年度文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創成推進事業（COC+）」採択プロジェクトの一環として実施されたものです。

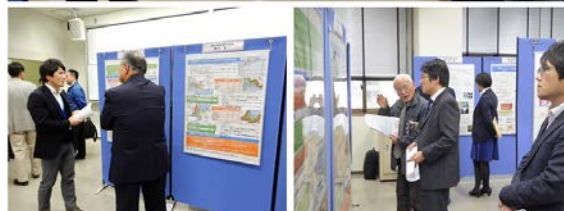
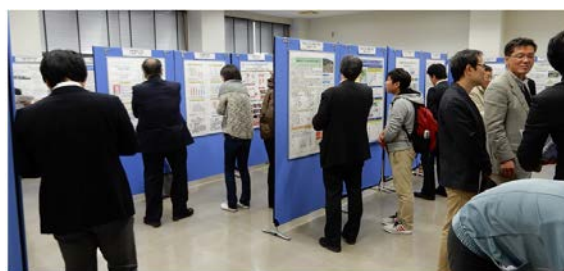


### 1.3.8 「第12回先端工学研究発表会」に出展しました

1月23日（月）13:00から、香川大学工学部において「第12回先端工学研究発表会」が開催されました。

パネル展示会場では、建設環境工学科柳川講師が「津波複合災害発生時における高台避難を想定した避難支援マップの作成」を、情報工学科 河田准教授と川染講師が「ヘリウム高密度プラズマ中でのスペクトル形状と占有密度のダイナミクスに関する数値計算」について説明を行いました。

本出展は、香川高専の研究成果の一端をアピールする良い機会となりました。





### 1.3.9 詫間キャンパスでビジネスに関する講演会を開催しました

2月23日(木)、香川銀行営業店統括部次長高橋 正彦氏を講師に招き、第4学年を対象にビジネスに関する講演会「技術者・研究者が知っておきたいビジネス・金融の基礎」を開催しました。

講演では、銀行が請け負う仕事をクイズ等を用いて分かりやすく説明して下さり、身近な銀行の役割や業務内容、金融、企業経営について学ぶことができ、学生にとって大変有意義な講演会となりました。

本講演会は香川銀行・香川高专連携協力協定に基づく推進事業の一環として開催されました。



「会社」について詳しく教えて頂きました



熱心に聞く学生達



ビジネスに関する講演会  
「技術者・研究者が知っておきたいビジネス・金融の基礎」  
対象者:4学年全学科  
講演者:香川銀行営業店統括部 次長  
高橋 正彦 氏

### 1.3.10 教職員による産業技術振興会会員企業等見学会を行いました

平成29年3月24日(金)に香川高専産業技術振興会会員企業等見学会を開催しました。振興会会員企業等との産学連携や学生の進路などを考える機会として、毎年この時期に実施しているもので、今回は多度津町の2社を見学しました。

最初に、会員企業である四変テック株式会社を訪問しました。東海取締役総合企画室長様のご挨拶があり、会社概要をご紹介いただいた後、変圧器事業部と電子機器事業部の製造工程などを見学しました。見学後、研究開発や人材育成について意見交換を行いました。

次に、食品関連企業との連携を深めるため、テーブルマーク株式会社中央工場を訪問しました。同社でも最初に大野工場長様より、会社の沿革や概要をご紹介いただき、その後、工場を見学しました。工場内ではうどんとお好み焼きの製造ラインを見学し、見学後は冷凍前の食材を試食させていただきました。また、今後求める人材などについてご意見等をいただきました。

今回は両キャンパス併せて19名の教職員が参加しましたが、両社とも、この見学を通じて高い技術力を知ることができました。参加者一同には今後の各種取組みに有意義な時間となりました。



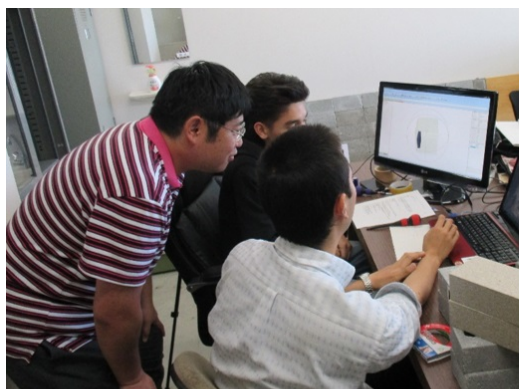
## 1.4 国際交流

### 1.4.1 フランス・トゥール大学から短期留学生を受け入れました

4月13日から6月29日まで、本校と学術交流協定(MOU)を締結しているトゥール大学(フランス)の学生1名が、本校のグローバルエンジニア受入プログラムに参加しました。本プログラムは、本校の研究室または学科に協定校の学生を受け入れて、与えられたテーマを実施するものです。

今回は、農作業記録収集・UNIX管理・Webアプリ・ARアプリなどのテーマについて、両キャンパスの4つの研究室へ順に配属されて、研修を行いました。研修時の議論はもちろん日常の会話でも互いに英語で行われるので、本校学生にとっても英語を用いた実践的なコミュニケーション能力が向上しています。研修最終日の6月28日には研修報告会が行われ、短期留学生は緊張の面持ちで発表に挑みました。この報告会はインターネットを通じてトゥール大学にも配信され、トゥール大学の先生らも聴講しました。

またプログラム期間中には、書道部の学生と書道体験をするなど、日本の文化に触れる機会もありました。



天造研究室での研修



最終報告会



書道体験



修了証書の授与

### 1.4.2 フランス・トゥール大学から国際交流室長が来校しました

6月27日と28日に、本校と学術交流協定(MOU)を締結しているトゥール大学(フランス)からフェーマー国際交流室長が来校しました。主な来校の目的は、同大学から受入れ中の短期留学生による研修報告会の聴講、両キャンパスの視察、及び今後の学生交換に関する協議です。

キャンパスの視察では全7学科にある実験室や研究室を回り、熱心に聞いていました。視察中には英語の授業にお邪魔する場面もありました。また、それぞれのキャンパスにおいて本校学生にトゥール大学の紹介を行い、本校学生を受け入れたいとアピールを行いました。

トゥール大学と本校とのMOU締結は、高松市がトゥール市と姉妹都市であることがきっかけであり、滞在中に高松市を表敬訪問するなどハードなスケジュールの中で予定をこなしていきました。今後も情報交換を続けて、学生の交換など多くの学術交流を促進します。



視察



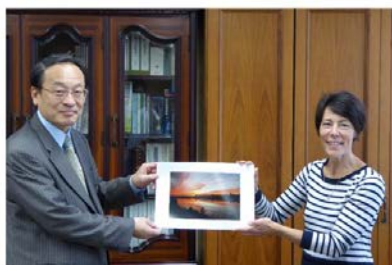
視察



トゥール大学の紹介



英語授業への参加



本校校長へ記念品贈呈



集合写真

### 1.4.3 本校共催のGEE2016がフランスで開催されました

6月2日(木)～6月3日(金)、ナント大学(フランス)において「地盤環境工学に関する国際会議(Geo-Environmental Engineering 2016: GEE 2016)」が開催されました。本会議は、本校と学術交流協定を締結しているカーン大学(フランス)が主催し、フランス、日本、韓国などの9カ国から約60名の参加がありました。共催機関である本校からは、教員2名が参加して研究発表を行い、各国の研究者との意見交換の機会となりました。次回のGEE2017は、2017年5月に韓国にて開催予定です。

#### 1.4.4 ニュージーランドでの語学研修から帰国しました

9月18日(日)、本校2～5年生の計6名が、ニュージーランドのAra Institute of Canterburyでの海外語学研修を終え、帰国しました。

最初、学生たちは英語での意思疎通に苦しんだ様子でした。しかしすぐにニュージーランドでの生活に慣れ、様々な国から来たクラスメートと一緒に楽しく授業を受けることができました。

今回は3週間引率教員なしで研修を受けましたが、ホストファミリーや語学学校のスタッフに支えられながら、いくつかの予期せぬ出来事にも自分たちで対処することができ、自主性も身につきました。

10月末には当研修の報告会が開催されます。



#### 1.4.5 第一回学生による国際交流活動報告会を開催しました

11月1日(火)に高松・詫間両キャンパスを遠隔授業配信システムで結び、平成28年度第一回学生による国際交流活動報告会を開催しました。

当報告会では、ニュージーランドAra Institute of Canterburyで行われた海外英語演習に参加した6名、マレーシアで行われた香川高専グローバル・エンジニア研修プログラムに参加した5名、平成27年度高専機構本部海外インターンシッププログラムで香港の企業に派遣された1名、シンガポールのニーアンポリテックで行われた技術英語研修に参加した1名がそれぞれの体験を発表しました。

この報告会を通して、在校生に英語を学ぶ大切さや必要性を伝えるとともに、今後自身の目標や夢に向かう上で必要な議論などが活発に行われました。



高松キャンパス会場



海外インターンシップの報告



詫間キャンパス会場



Ara海外英語演習の報告

#### 1.4.6 協定校・ラジャマンガラ工科大学の訪問団が来校しました

11月8日に、本校と学術交流協定(MOU)を締結している、タイのラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校(RMUTT)から学長と副学長をはじめとする総勢40名の訪問団が来校しました。全体会議では、両校の紹介を行った後、本校のプロコンやロボコンを紹介して今後の学術交流の話題提供を行いました。その後、両校の教員が研究分野毎に別れたグループミーティングを行い、研究マッチングに関する意見交換を行いました。最後に、本校高松キャンパスのロボコンチームによるロボコンデモンストレーションを見学しました。

今回の訪問で行われた議論や意見交換をに、今後は本校学生の短期派遣やRMUTT学生の短期受入など、さらに具体的な学術交流を計画していきます。



全体会議



グループミーティング



ロボコン視察



集合写真

### 1.4.7 「学校の枠を超えた外国人留学生の交流活動」を実施しました

四国地区高専総合文化祭開催中の平成28年12月10日に、四国地区高専の外国人留学生が一堂に会し、「学校の枠を超えた外国人留学生の交流活動」を実施しました。この活動は、外国人留学生が文化的活動体験を通じて日本文化についての理解を深めるとともに、四国地区高専留学生の交流を推進することを目的として毎年行われています。

今年は34名の留学生が盆栽で有名な香川県高松市鬼無町を訪れ、創業百余年の歴史を持つ中西珍松園様にて、すばらしい盆栽を鑑賞後、五葉松のコケ玉づくりを体験しました。

留学生たちは五葉松の根や枝を切り揃えながらコケ玉に植え付け、思い思いの形に仕上げました。これから大切に育て、日本の盆栽文化を少しでも理解してもらえればと思います。



盆栽鑑賞



五葉松の根の切り揃え



コケの張りつけ



コケ玉の完成

### 1.4.8 第二回学生による国際交流活動報告会を開催しました

1月24日(火)に高松・詫間両キャンパスを遠隔授業配信システムで結び、平成28年度第二回学生による国際交流活動報告会を開催しました。

当報告会では、香川高専グローバル・エンジニア研修プログラムでフランスのツール大学ブリア校に短期留学した学生1名、インドネシアで開かれたISTS2016で研究発表をした学生3名、中四国の高専生を対象にしたオーストラリア語学研修に参加した学生1名、そして全国の高専生を対象にシンガポールのポリテクニックで行われた英語キャンプに参加した学生1名がそれぞれの体験を発表しました。

この報告会を通して、在校生に英語を学ぶ大切さや必要性を伝えるとともに、今後自身の目標や夢に向かう上で必要な議論などが活発に行われました。



### 1.4.9 協定校・ラジャマンガラ工科大学（タイ）へ学生を派遣しました

3月1日から10日間、本校の学生7名をタイのラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校(RMUTT)へ派遣しました。これは、本校が主催するグローバルエンジニア研修プログラムの一環であり、本校学生はRMUTTで自身の専門分野や異文化体験を、英語を用いたコミュニケーション能力の向上とともに取り組むものです。

学生の多くは初めての海外渡航であり、最初のオリエンテーションではかなり緊張した様子でした。しかし、プログラムが始まると、RMUTTの学生らが一緒に行動してくれてすぐに仲良くなりました。このおかげで研修も順調に終わることができ、最終日には報告会で一人ひとりが英語で発表を行いました。

本校学生は、自身の専門分野における研修だけでなく、異文化体験、現地の工場見学、さらにはRMUTT学生との交流など、短期間で密度の濃いスケジュールに取り組みました。新年度からも、本校での学校生活にこれらの経験を活かして、国際社会で活躍できる技術者を目指してほしいです。



オリエンテーションで



電気電子系の研修中



食事



土木系の研修中



空港で



最終報告会で



## 1.5 その他

### 1.5.1 平成28年度 香川高等専門学校入学式を挙りました

4月5日（火）丸亀市内の綾歌総合文化会館アイレックス大ホールにおいて、香川高等専門学校の第7回入学式を挙りました。

入学式では、本科生292名、留学生6名及び専攻科生44名の計342名の名前が一人ずつ読み上げられ、八尾校長から入学が許可されました。

八尾校長から「自ら努め励むことを決意し、人間相互の和と尊敬の念を抱きながら、人・社会と調和・協力して問題解決に取り組む、創造性豊かな高度実践技術者を目指してほしいと思います。」との式辞が述べられ、三豊市長からも祝辞を賜りました。

新入生の新しい門出を保護者、教職員とともに祝いました。



本科生入学生総代・専攻科入学生総代による宣誓

### 1.5.2 四国新聞 2016年5月24日付朝刊で「栗島船員OB資料アーカイブプロジェクト」が紹介されました

電子システム工学科藤井研究室が行っている「栗島船員OB資料アーカイブプロジェクト」が四国新聞社の取材を受けました。

掲載記事では、本プロジェクトの概要、プロジェクト開始のきっかけや栗島での取材、アプリ製作の様子等が紹介されています。

実際の記事をご覧になりたい方は、以下のリンクをクリックして下さい。

リンク先のページから、記事を読むことができます。

<http://www.kagawakosen-mirai.com/?p=6719>

### 1.5.3 合同大学説明会を開催しました

平成29年1月21日(土)に本科4年生と専攻科1年生の進学希望者を対象とした合同大学説明会を開催しました。

講師には安井利明先生(豊橋技大)、南口誠先生(長岡技大)、荒川雅生先生(香川大)、都築伸二先生(愛媛大)、西尾芳文先生(徳島大)、尾知博先生(九工大)、沖野晃俊先生(東工大大学院)、森雄一郎先生(高知大)の8名をお迎えし、大学の研究、編入先の単位互換制度や編入試験対策、学費や大学生活について説明して頂き、説明会終了後に希望者に個別面談を行って頂きました。

さらに本校専攻科電子情報通信工学専攻長の長岡史郎先生と専攻科2年生の学生から、専攻科の学生生活や研究についての説明をして頂きました。進学希望者にとって有益な情報が得られる貴重な説明会となりました。



### 1.5.4 平成28年度卒業証書授与式及び専攻科修了証書授与式を挙行了しました

平成29年3月17日(金)に、平成28年度卒業証書授与式及び専攻科修了証書授与式を綾歌総合文化会館アイレックスにおいて挙行了しました。

八尾校長から各学科総代に卒業証書を、各専攻総代に修了証書と学位記を授与し、国立高等専門学校機構理事長特別表彰および皆勤賞受賞者へ表彰状を授与しました。続いて、「広い視野と長期的な展望を持ち、ますます進歩し、活躍されることを希望します。」と式辞を述べた後、三豊市長および総務省四国通信局長から祝辞を賜りました。

式には多くの来賓にもご臨席いただき、保護者、教職員とともに卒業生・修了生の新しい門出を祝いました。



### 1.5.5 香川高専OBによる図書贈呈式を挙げました ～50年先輩から「宝石になれ！」のメッセージ～

平成29年2月17日（金）に、高松キャンパス体育館において、学生・教職員約1,000名が出席し、図書贈呈式を行いました。

本校OBの山地真人氏（三和電業グループ各社代表取締役）から、ご自身の電気工事会社が大きく成長する過程を紹介した自著「中小工事会社が激動期を生き抜いたエクス」を、高松キャンパス全学生と両キャンパス全教職員に寄贈いただきました。

贈呈式では、山地氏から学生を代表して機械工学科4年の河上聖介さんへ目録贈呈の後、河上さんから「人のご縁は、いかに巡り合うかではなく、ものにできるかが大切、そのチャンスを逃さないため、さまざまなことに挑戦していきたい。」と感謝の言葉が述べられました。

続いて、本校八尾校長から感謝状が贈呈された後、山地氏から約50年先輩からのメッセージとして「技術だけではなくマネジメント能力が大切であり、社会に大きく貢献できる経営センスを持った宝石のようなエンジニアになってください。ともに楽しく頑張っていきましょう！」と後輩達に熱いエールが送られました。



著書を前に挨拶する山地氏



著書贈呈



感謝状贈呈



後輩への熱いエール

### 1.5.6 合同会社説明会を実施しました

平成 29 年 3 月 22 日（水）、23 日（木）本校体育館において専攻科 1 年生および本科 4 年生を対象とした合同会社説明会を開催しました。高松キャンパスは 22 日、詫間キャンパスは 23 日に実施しました。本合同企業説明会は、平成 17 年度に初めて開催して今年で 11 回目を迎えます。県内外から高松キャンパスには 136 社、詫間キャンパスには 72 社の企業にお越し頂きました。

初春のまだ肌寒い季節にもかかわらず、両体育館は採用担当者と学生の意欲で熱気を帯びていました。参加学生は、志望する企業ブースを次々に訪問し、真剣な面持ちでメモを取りながら担当者の説明に耳を傾けていました。本説明会は、主に香川県内企業で構成される香川高専産業技術振興会会員企業様にもご協力を頂いております。

本説明会による企業面談が、学生にとって有意義な経験となり、今後の就職活動に活用されることを期待しています。



高松キャンパス



詫間キャンパス